

平成28年度
地域コミュニティ活性化モデル事業
アンケート調査報告書

四国中央市 市民部 市民交流課

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) アンケートの実施方法	1
(3) 回収率	1
2. 調査結果	2
Q 1. あなたの性別を教えてください	2
Q 2. あなたの年代を教えてください	3
Q 3. お住まいの地域で多様な団体等が集まって地域コミュニティの活性化を目指すコミュニティ協議会が結成されていることをご存知でしたか	4
Q 4. お住まいの地域が地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをご存知でしたか	5
Q 4-1. (Q 4で「はい」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをどのようにして知りましたか	6
Q 5. 地域コミュニティ活性化事業についてどう思いますか	8
Q 6. 平成 27 年度地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか	10
Q 7. 地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか	11
Q 7-1. (Q 7で「参加した」と答えた方のみ) どの事業に参加しましたか	12
Q 7-2. (Q 7で「事業は知っていたが参加していない」と答えた方のみ) 事業は知っていたが参加していない理由は何ですか	14
Q 8. (Q 7で「参加した」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に参加されていかがでしたか	16
Q 9. 下記のチラシを見たことがありますか	19
Q 10. 地域内での住民同士のつながりは必要と考えますか	22
Q 11. どのような地域活動なら参加しても良いと考えますか	24
Q 12. 地域の課題（地域高齢者対策、防犯灯整備、子どもの見守りなど）はどのように解決すべきと考えますか	26
Q 13. 今後、少子高齢化が進展する中で地域のコミュニティが担う役割についてどう思いますか	28
Q. アンケートについてのご意見や、今後地域コミュニティ活性化事業に望むことがあれば、お書きください	30
川滝地区における主な意見	30
豊岡地区における主な意見	32
蕪崎地区における主な意見	34

1. 調査概要

(1) 調査の目的

市では、平成25年6月に策定した「四国中央市地域コミュニティ基本計画」に基づいて、公民館単位の地区ごとの住民がそれぞれの地域が抱える課題について、住民自ら解決に向けての方法を考え、行動することにより地域課題の解決や住民同士の絆の再生、そして地域力の強化を図る地域コミュニティ活性化事業を開始しました。

平成26年度に川滝、豊岡、蕪崎の公民館区域をモデル地区に選定し、活動組織である地区コミュニティ協議会の設立を始めとして、住民集会の開催や地区コミュニティ計画の策定などを行いました。平成27年度からはその計画に基づいて具体的な事業が実施されていますが、今後の事業の展開等を検討するための基礎的な資料とするために、モデル地区の住民を対象としたアンケート調査を平成27年度に続いて実施したものです。

(2) アンケートの実施方法

- ①調査対象者：18歳以上の市民
- ②抽出方法：無作為抽出（同じ世帯は除く）
- ③配布及び回収：郵送配布、郵送回収
- ④実施期間：平成29年2月20日（月）～3月10日（金）

(3) 回収率

地区名	発送数	回収数	回収率
川滝地区	430	105	24.42%
豊岡地区	525	149	28.38%
蕪崎地区	337	130	38.58%
合計	1,292	384	29.72%

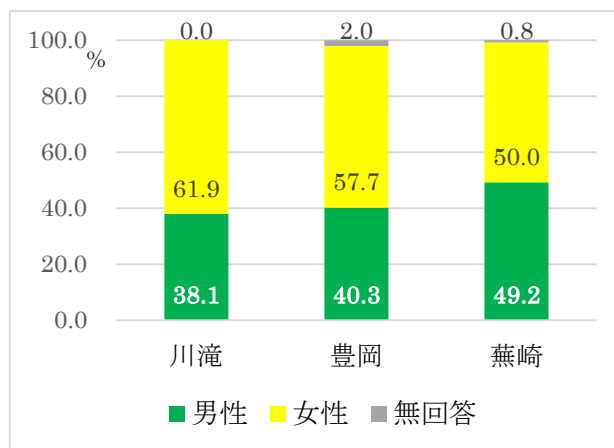
※発送数は統計学に基づき算出

2. 調査結果

Q1. あなたの性別を教えてください

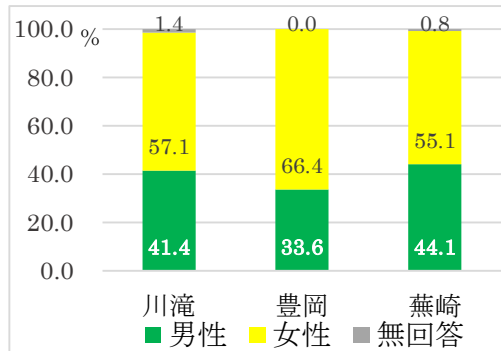
発送総数 1,292 通に対して、3 地区合計の回答数は 384 通で回収率は 29.72%（平成 27 年度の回答数は 398 通で 30.80%）でした。回答者の男女の割合は、男性が約 4 割、女性が約 6 割となっており、昨年とほぼ同じ割合でした。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
男性	40	60	64	164
女性	65	86	65	216
無回答	0	3	1	4
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

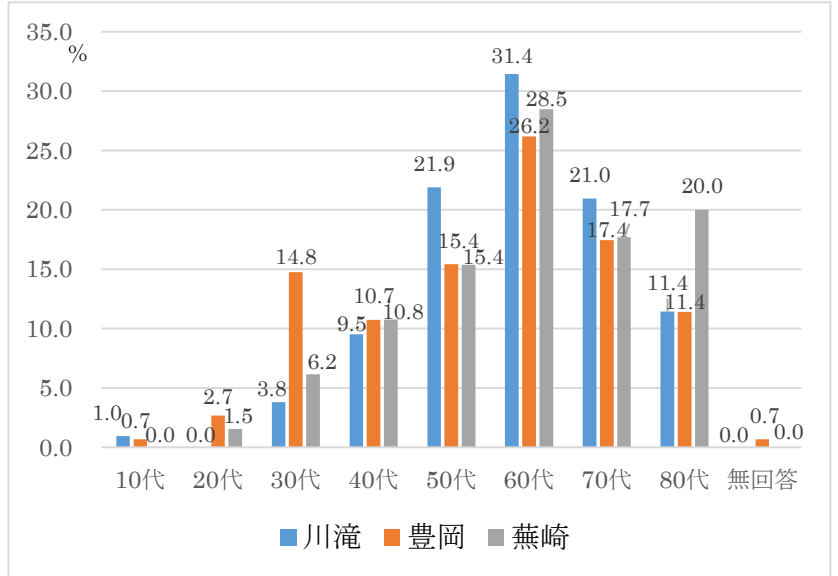
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
男性	58	44	56	158
女性	80	87	70	237
無回答	2	0	1	3
合計	140	131	127	398



Q2. あなたの年代を教えてください

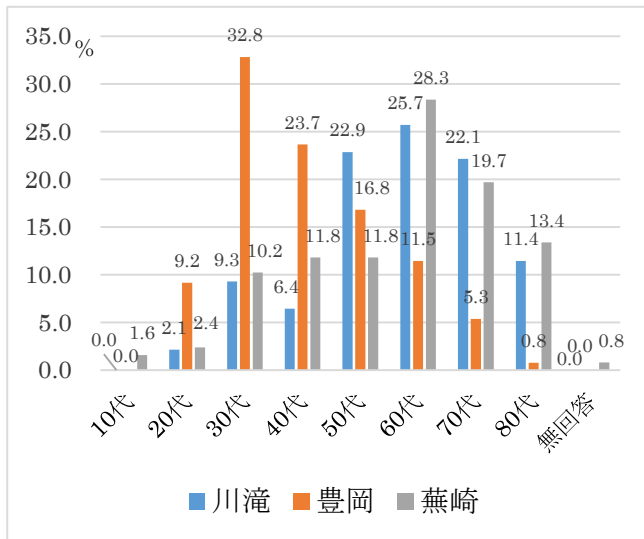
全ての地区で60代の回答者が一番多くなっており、その60代を頂点とした山型に傾斜する結果となっています。しかしながら、豊岡地区の30代回答者が14.8%と他の地区と比べて突出して高くなっています。平成27年度の結果においては、豊岡地区だけが30代を頂点とする山型になっており、他の地区に比べて若い世帯が多いと推測されます。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
10代	1	1	0	2
20代	0	4	2	6
30代	4	22	8	34
40代	10	16	14	40
50代	23	23	20	66
60代	33	39	37	109
70代	22	26	23	71
80代	12	17	26	55
無回答	0	1	0	1
合計	105	149	130	384



平成27年度

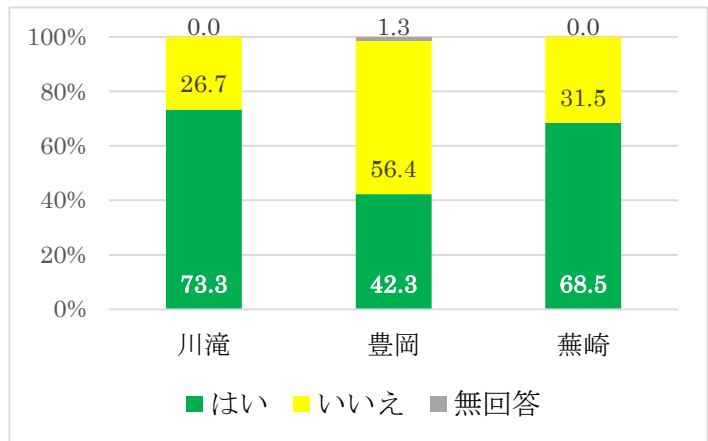
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
10代	0	0	2	2
20代	3	12	3	18
30代	13	43	13	69
40代	9	31	15	55
50代	32	22	15	69
60代	36	15	36	87
70代	31	7	25	63
80代	16	1	17	34
無回答	0	0	1	1
合計	140	131	127	398



Q3. お住まいの地域で多様な団体等が集まって地域コミュニティの活性化を目指すコミュニティ協議会が結成されていることをご存知でしたか

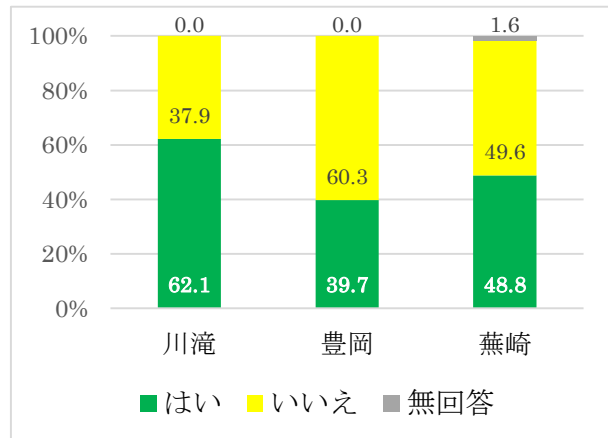
平成 27 年度と比較して、川滝地区が約 11%、豊岡地区が約 3%、蕪崎地区が約 20%、地域コミュニティ協議会の認知度がアップしています。平成 27 年度の検証結果を受けて、3 地区において PR に努めた成果の表れと推測されます。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	77	63	89	229
いいえ	28	84	41	153
無回答	0	2	0	2
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

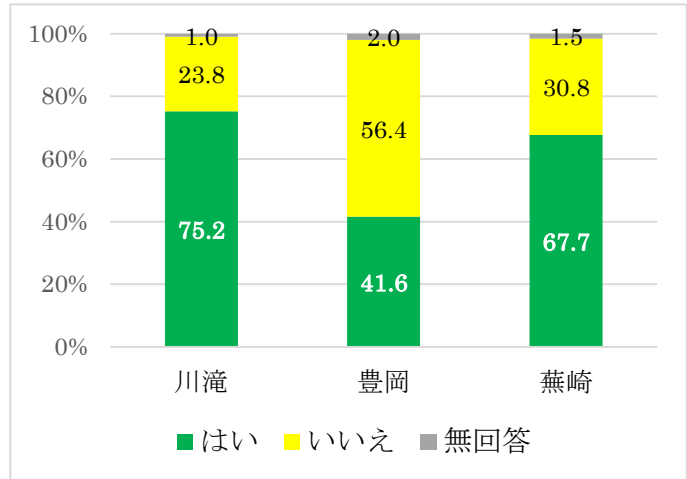
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	87	52	62	201
いいえ	53	79	63	195
無回答	0	0	2	2
合計	140	131	127	398



Q 4. お住まいの地域が地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをご存知でしたか

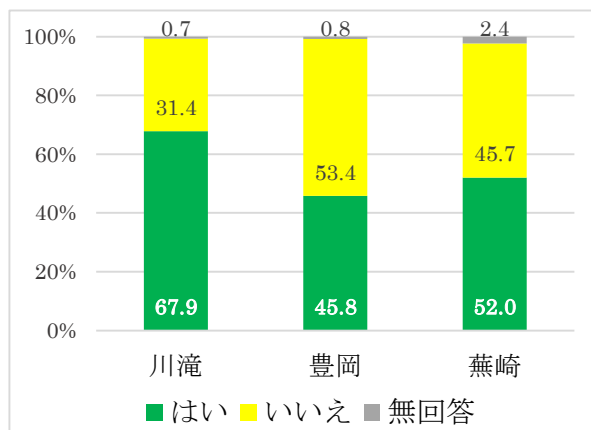
川滝地区と蕪崎地区においては、Q 3 の協議会の認知度と同様に平成 27 年度と比較して事業の認知度が向上しています。川滝地区では約 7%、蕪崎地区では約 16%の事業認知度の向上がみられましたが、豊岡地区では逆に 4%ほど事業認知度を下げる結果となりました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	79	62	88	229
いいえ	25	84	40	149
無回答	1	3	2	6
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

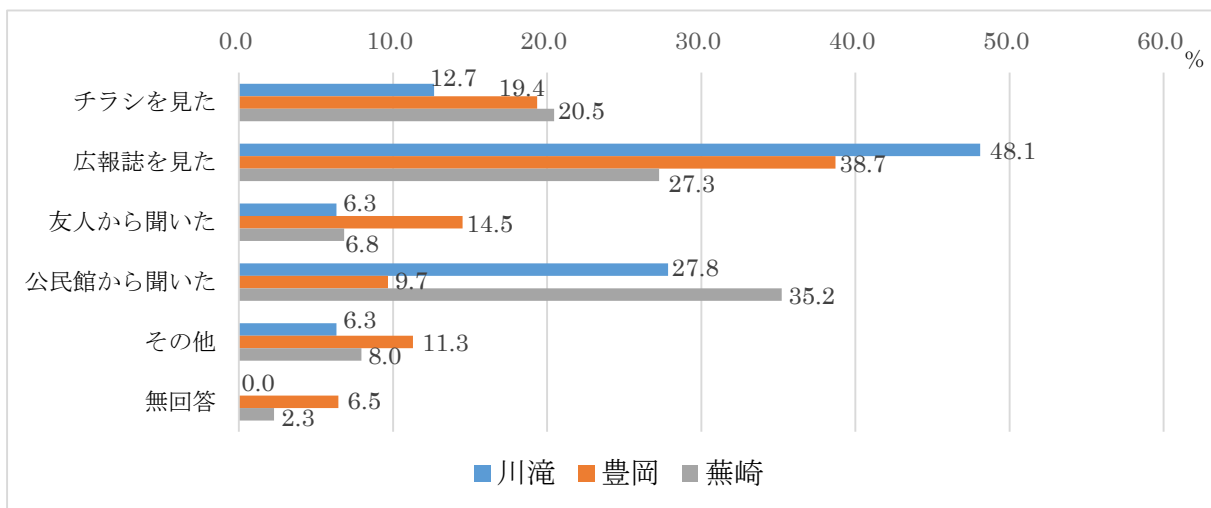
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
はい	95	60	66	221
いいえ	44	70	58	172
無回答	1	1	3	5
合計	140	131	127	398



Q4-1. (Q4で「はい」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいることをどのようにして知りましたか

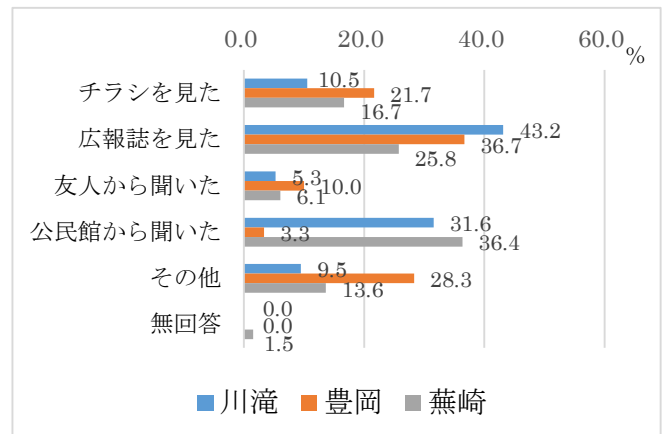
平成27年度とほぼ同様の結果となり、「広報誌を見た」と「公民館から聞いた」との回答が多くありました。豊岡地区においては「公民館から聞いた」との回答が約6%増加するとともに、蕪崎地区においても「チラシを見た」との回答が約4%増加しました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
チラシを見た	10	12	18	40
広報誌を見た	38	24	24	86
友人から聞いた	5	9	6	20
公民館から聞いた	22	6	31	59
その他	5	7	7	19
無回答	0	4	2	6
合計	80	62	88	230



平成27年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
チラシを見た	10	13	11	34
広報誌を見た	41	22	17	80
友人から聞いた	5	6	4	15
公民館から聞いた	30	2	24	56
その他	9	17	9	35
無回答	0	0	1	1
合計	95	60	66	221



(「その他」の回答は次ページに記載)

川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 花いっぱい事業に参加させていただきました
- 花を配ってもらったので
- 行事に家族が参加している
- コスモステレビで見た

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 学校で参加の申込みやチラシが配られたから
- 知人が参加しているので
- 自治会の役員さんから聞いた
- コスモステレビで見た

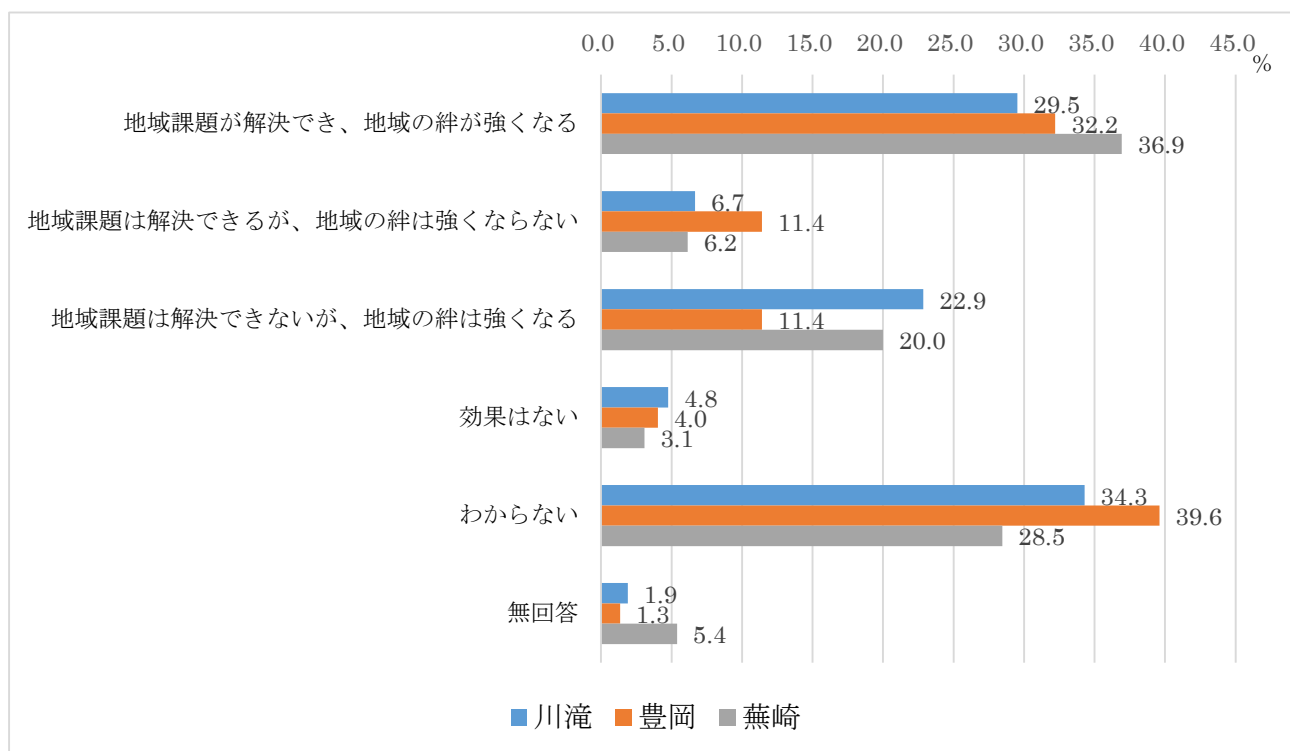
蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- 自治会の世話をしているため
- 家族から聞いた
- 花を貰った
- 知人がメンバーの一員であるため
- コスモステレビで見た

Q5. 地域コミュニティ活性化事業についてどう思いますか

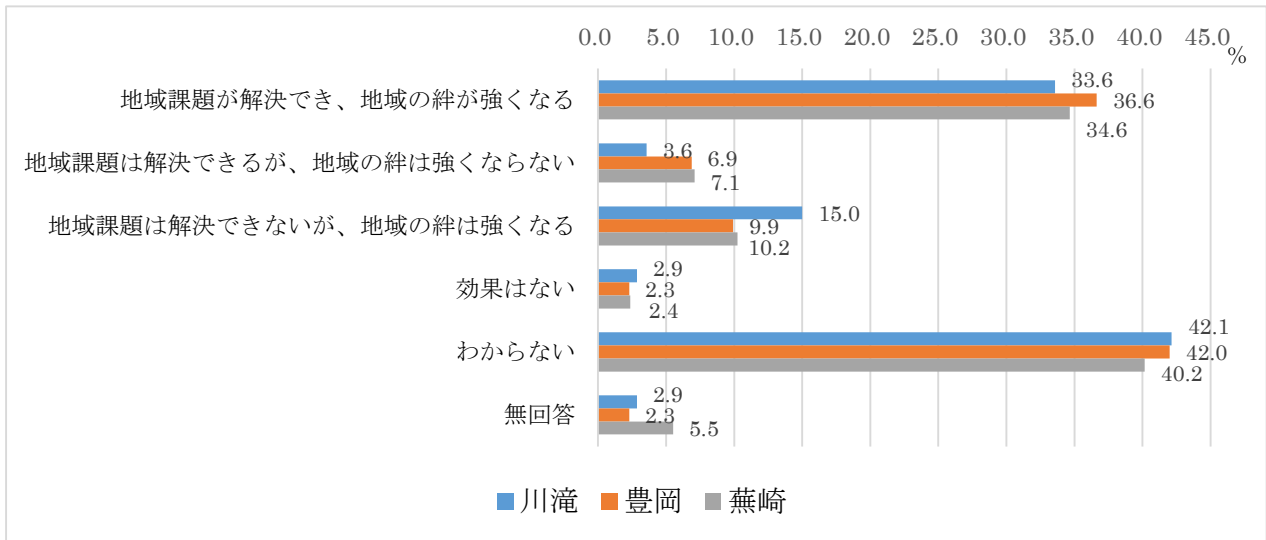
地域コミュニティ活性化事業の効果について、「わからない」を除けば「地域課題が解決でき、地域の絆が強くなる」との回答が一番多くありました。平成27年度と比較して「地域課題は解決できないが、地域の絆は強くなる」との回答が3地区ともにアップし、特に蕪崎地区は約10%アップしています。また「わからない」との解答は3地区ともに減少しています。豊岡地区においては、「地域課題は解決できるが、地域の絆は強くならない」との回答が、他地区に比べて約5%上回る結果でした。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
地域課題が解決でき、地域の絆が強くなる	31	48	48	127
地域課題は解決できるが、地域の絆は強くならない	7	17	8	32
地域課題は解決できないが、地域の絆は強くなる	24	17	26	67
効果はない	5	6	4	15
わからない	36	59	37	132
無回答	2	2	7	11
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
地域課題が解決でき、地域の絆が強くなる	47	48	44	139
地域課題は解決できるが、地域の絆は強くない	5	9	9	23
地域課題は解決できないが、地域の絆は強くなる	21	13	13	47
効果はない	4	3	3	10
わからない	59	55	51	165
無回答	4	3	7	14
合計	140	131	127	398



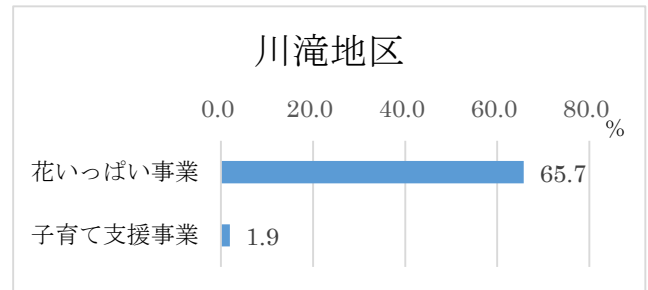
Q 6. 平成 27 年度地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか

平成 27 年度の事業において、川滝地区が地域コミュニティ活性化事業の P R 等のために実施した花いっぱい事業が 65.7%と参加率が一番高い結果でした。一方で、豊岡地区の花いっぱいのまちづくり事業は、役員が中心となって国道 11 号等の花壇整備を行ったため、一般の参加者が少なく参加率が 0%の結果でした。

【川滝地区】

選択肢	回答数	参加率
花いっぱい事業	69	65.7
子育て支援事業	2	1.9

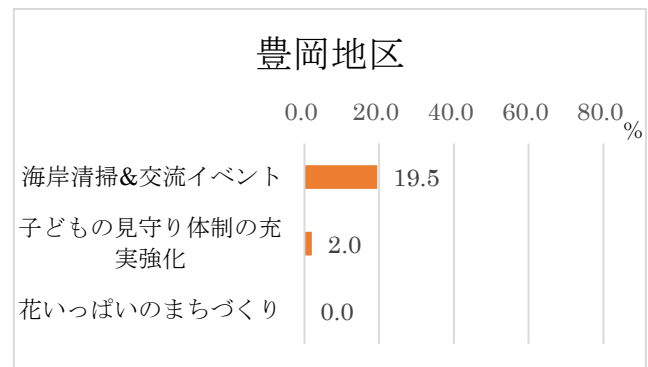
複数回答（回答総数 105）



【豊岡地区】

選択肢	回答数	参加率
海岸清掃&交流イベント	29	19.5
子どもの見守り体制の充実強化	3	2.0
花いっぱいのまちづくり	0	0.0

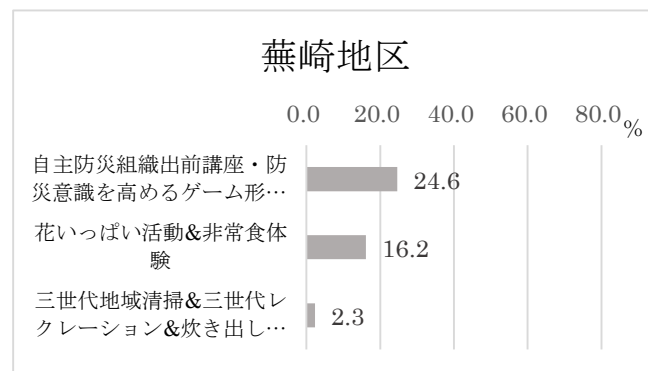
複数回答（回答総数 149）



【蕪崎地区】

選択肢	回答数	参加率
自主防災組織出前講座・防災意識を高めるゲーム形式の講座	32	24.6
花いっぱい活動&非常食体験	21	16.2
三世代地域清掃&三世代レクリエーション&炊き出し体験	3	2.3

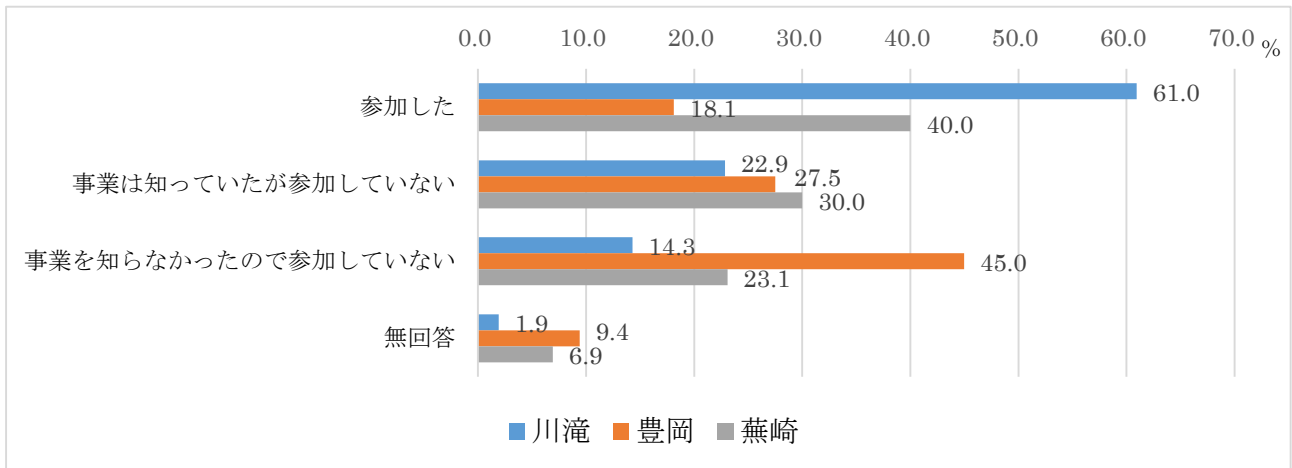
複数回答（回答総数 130）



Q7. 地域コミュニティ活性化事業に参加されましたか

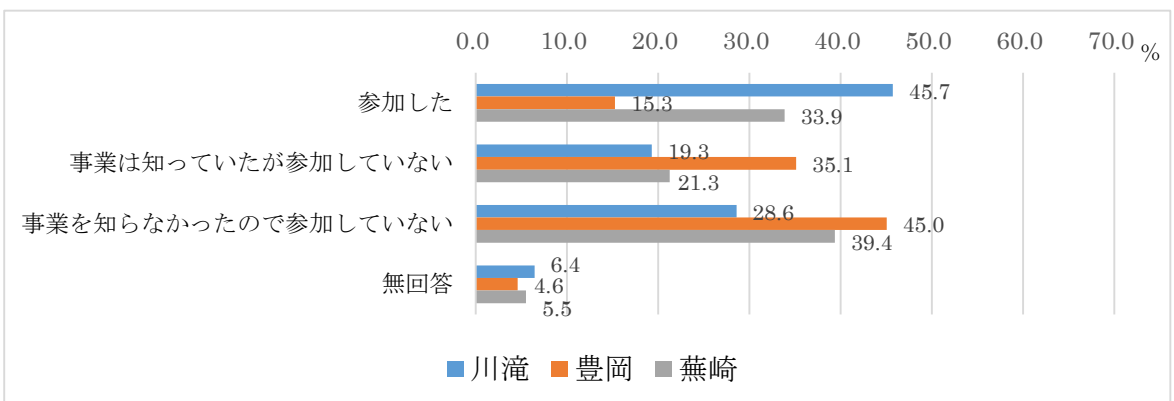
平成28年度に「事業に参加した」と回答した人は、川滝地区が約61%、豊岡地区が約18%、蕪崎地区が40%の状況でした。平成27年度と比較すると3地区において「参加した」との回答した割合が増えています。豊岡地区では、「事業を知らなかったので参加していない」との回答が他の地区よりも多く約45%となり、平成27年度と同じ結果でした。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
参加した	64	27	52	143
事業は知っていたが参加していない	24	41	39	104
事業を知らなかったので参加していない	15	67	30	112
無回答	2	14	9	25
合計	105	149	130	384



平成27年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
参加した	64	20	43	127
事業は知っていたが参加していない	27	46	27	100
事業を知らなかったので参加していない	40	59	50	149
無回答	9	6	7	22
合計	140	131	127	398



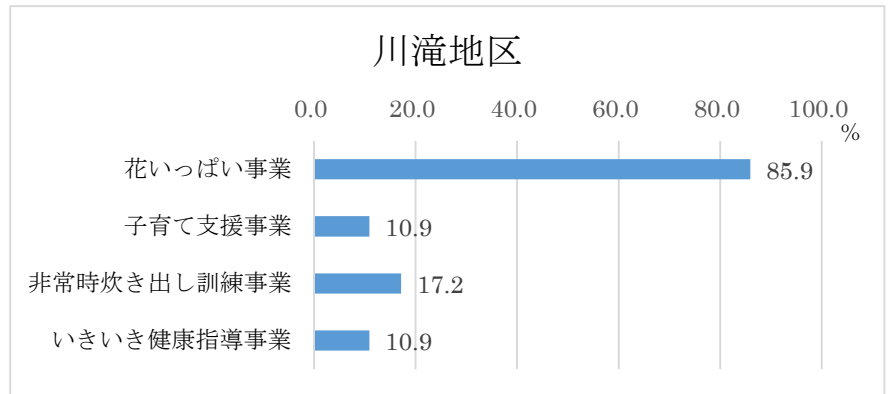
Q7-1. (Q7で「参加した」と答えた方のみ) どの事業に参加しましたか

【川滝地区】

事業に参加した64名のうち55名(85.9%)が花いっぱい事業に参加しています。参加者の年代が限られる子育て支援事業は7名(10.9%)、いきいき健康指導事業も7名(10.9%)の結果でした。

選択肢	回答数
花いっぱい事業	55
子育て支援事業	7
非常時炊き出し訓練事業	11
いきいき健康指導事業	7

※複数回答



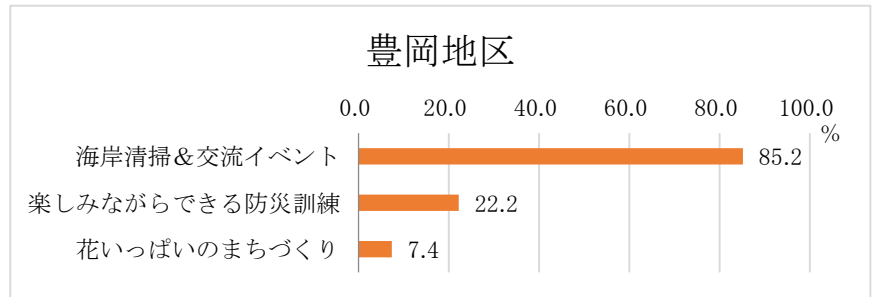
Q7で「事業に参加した」と答えた64名の事業別参加割合

【豊岡地区】

事業に参加した27名のうち23名(85.2%)が海岸清掃&交流イベントに参加しています。楽しみながらできる防災訓練は6名(22.2%)、花いっぱいのまちづくり事業は2名(7.4%)の状況でした。

選択肢	回答数
海岸清掃&交流イベント	23
楽しみながらできる防災訓練	6
花いっぱいのまちづくり事業	2

※複数回答



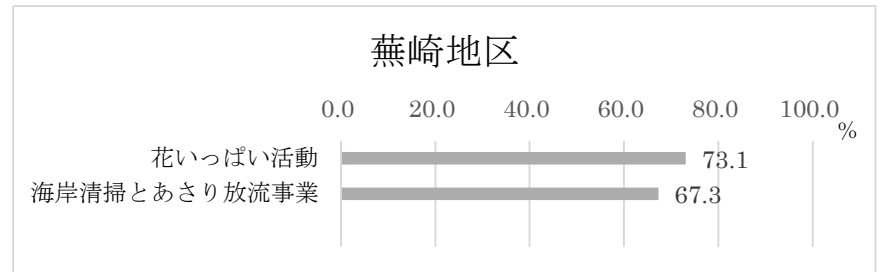
Q7で「事業に参加した」と答えた27名の事業別参加割合

【蕪崎地区】

事業に参加した 52 名のうち、それぞれの事業に約 7 割の人が参加しています。

選択肢	回答数
花いっぱい活動	38
海岸清掃とあさり放流事業	35

※複数回答



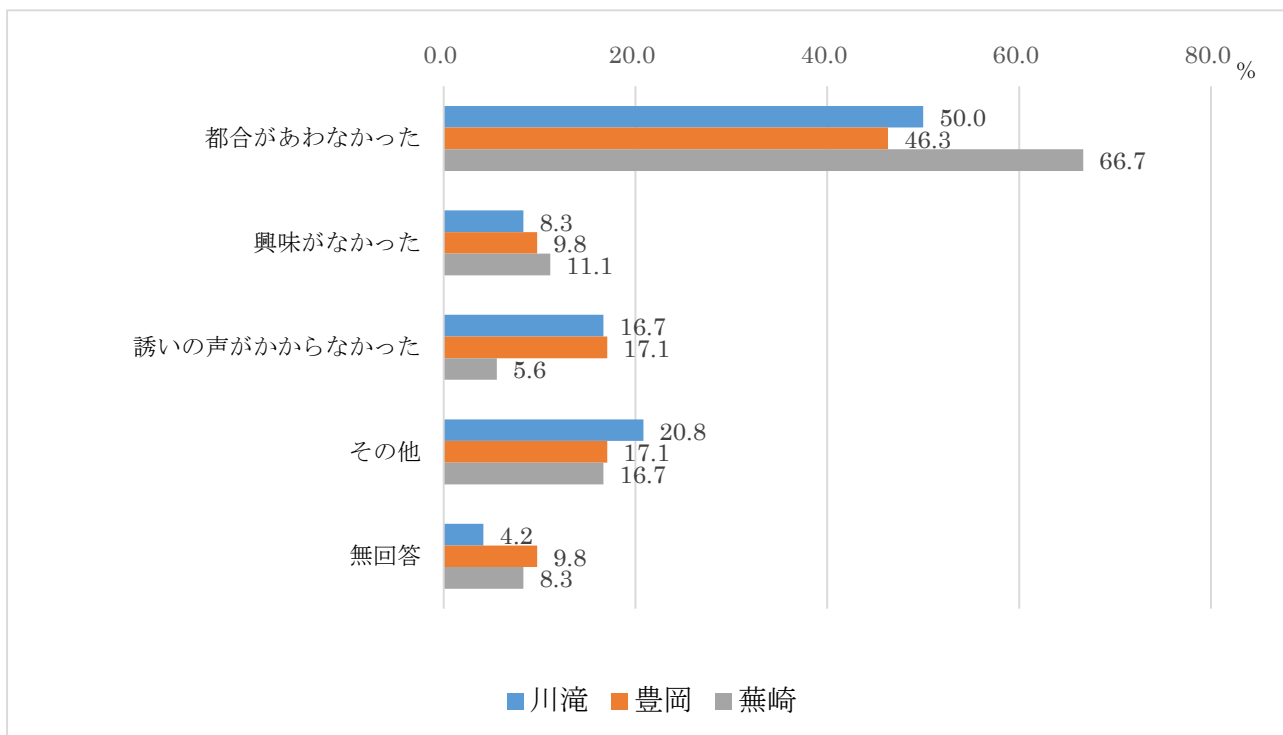
Q7で「事業に参加した」と答えた 52 名の事業別参加割合

Q7-2. (Q7で「事業は知っていたが参加していない」と答えた方のみ) 事業は知っていたが参加していない理由は何ですか

Q7で事業は知っていたが参加できなかったと答えた人が参加していない理由は、3地区ともに「都合があわなかった」との回答が一番多くなっています。平成27年度と比較して、「興味がなかった」、「誘いの声がかからなかった」との回答が増えています。

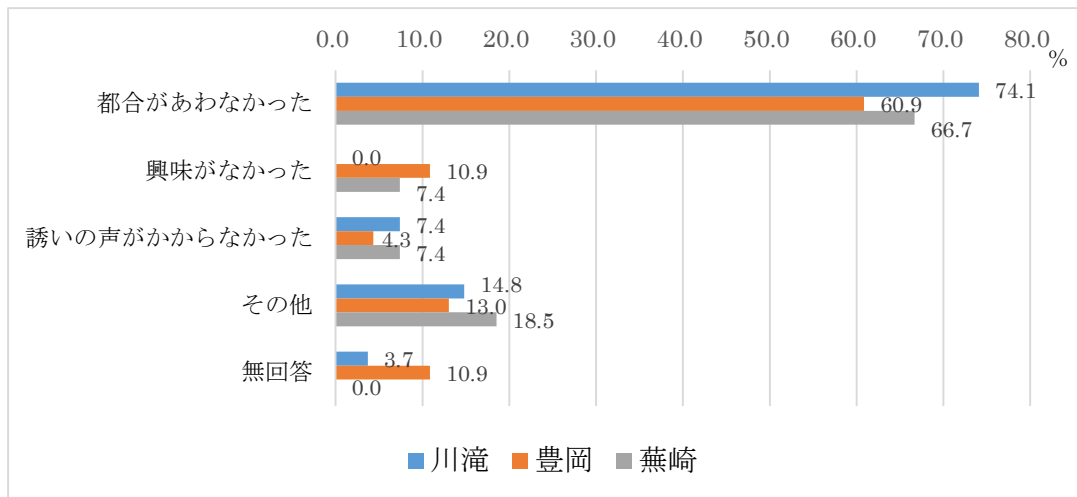
その他の意見としては、「仕事で疲れているから」、「体の調子が悪いため」、「高齢であるため」などの意見とともに、「仲間に入りづらそうに思ったから」、「一人では行きづらかったから」という意見がありました。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
都合があわなかった	12	19	24	55
興味がなかった	2	4	4	10
誘いの声がかからなかった	4	7	2	13
その他	5	7	6	18
無回答	1	4	3	8
合計	24	41	36	104



平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
都合があわなかった	20	28	18	66
興味がなかった	0	5	2	7
誘いの声がかからなかった	2	2	2	6
その他	4	6	5	15
無回答	1	5	0	6
合計	27	46	27	100



川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 葱尾ふれあい長生会で活動しているから
- 高齢のため参加できなかった
- 家事の都合
- 会社員なので積極的に参加できてない
- 病気のため参加できなかった

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 仕事のため参加できなかった
- 家族が参加したので自分は他の用事をしていたから
- 高齢のため参加できなかった
- 仲間に入りづらそうに思ったから
- 一人では行きづらかったから
- 全員参加ではなかったから

蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

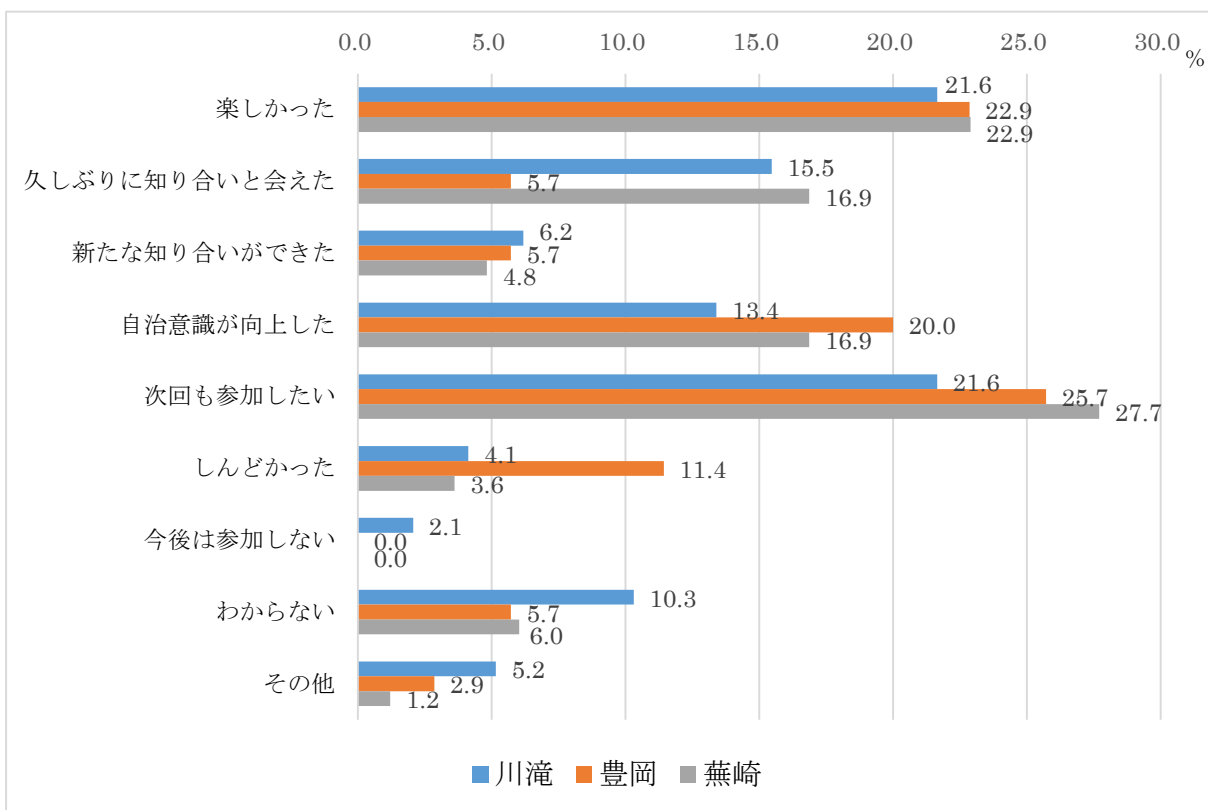
- 高齢のため参加できなかった
- 体力的に参加できない
- 体調が悪かったから
- 仕事で疲れているので休みたかったから

Q8. (Q7で「参加した」と答えた方のみ) 地域コミュニティ活性化事業に参加されていたかがでしたか

(複数回答可)

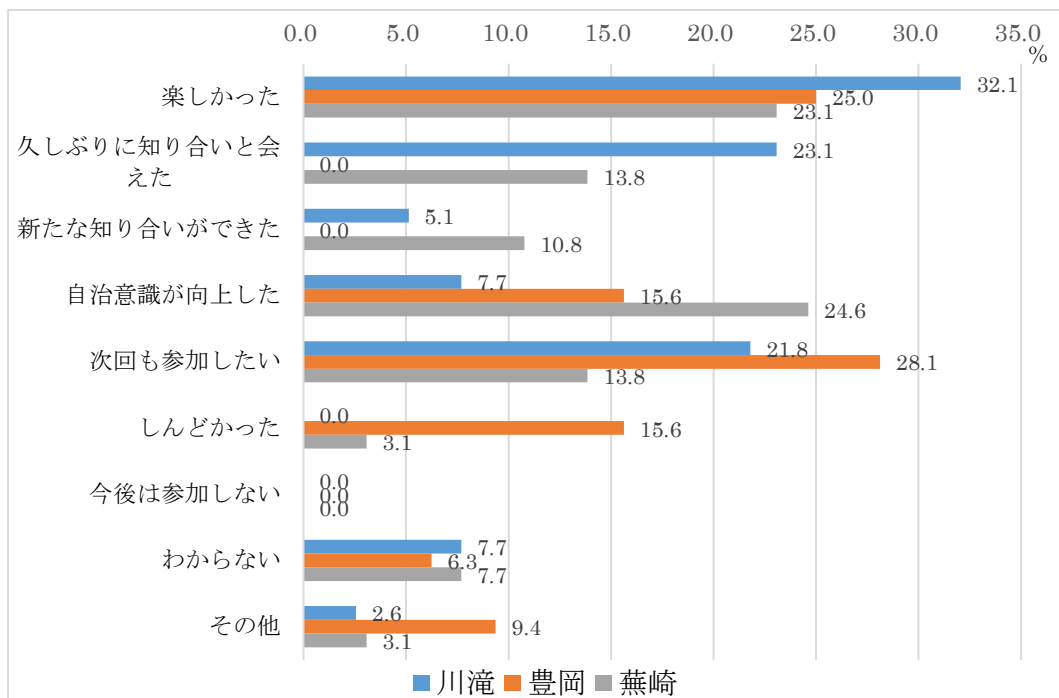
事業に参加した感想は、3地区ともに肯定的な意見が多く、「次回も参加したい」や「楽しかった」「自治意識が向上した」などの回答が多くありました。特徴的なものは、川滝及び蕪崎地区では、「久しぶりに知り合いに会えた」との回答が多い一方で、豊岡地区では事業が「しんどかった」との回答が多くなっています。これは平成27年度と同様の結果ですが、海岸の大規模清掃を熱心に取り組んだ現われではないかと推測されます。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
楽しかった	21	8	19	48
久しぶりに知り合いと会えた	15	2	14	31
新たな知り合いができた	6	2	4	12
自治意識が向上した	13	7	14	34
次回も参加したい	21	9	23	53
しんどかった	4	4	3	11
今後は参加しない	2	0	0	2
わからない	10	2	5	17
その他	5	1	1	7
合計	97	35	83	215



平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
楽しかった	25	8	15	48
久しぶりに知り合いと会えた	18	0	9	27
新たな知り合いができた	4	0	7	11
自治意識が向上した	6	5	16	27
次回も参加したい	17	9	9	35
しんどかった	0	5	2	7
今後は参加しない	0	0	0	0
わからない	6	2	5	13
その他	2	3	2	7
合計	78	32	65	175



(「その他」の回答は次ページに記載)

川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- お花を頂いて植えただけなので特に思うことはありませんが、参加したことになるのかどうか・・・ 地域が明るくなったように感じる
- 地域の方は興味なさそう
- 消極的な性格のため、しり込みする事が多い

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

※意見はありませんでした。

蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- 役目上、参加したが疑問が残った
- 今後は参加したくない
- 限界がある

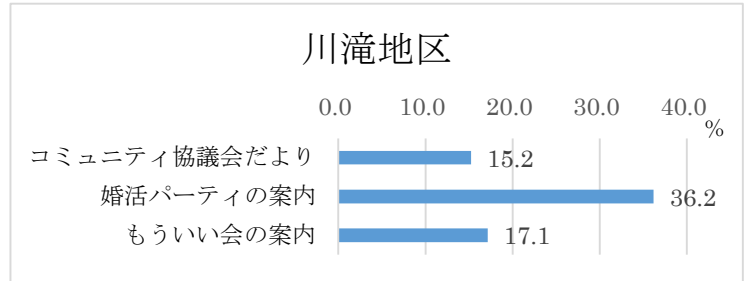
Q9. 下記のチラシを見たことがありますか

(複数回答可)

【川滝地区】

川滝地区において長年取り組んでいる婚活パーティーの案内が一番認知度の高い結果となりました。

選択肢	回答数
コミュニティ協議会だより	16
婚活パーティーの案内	39
もういい会の案内	18



1. コミュニティ協議会だより (2回発行)

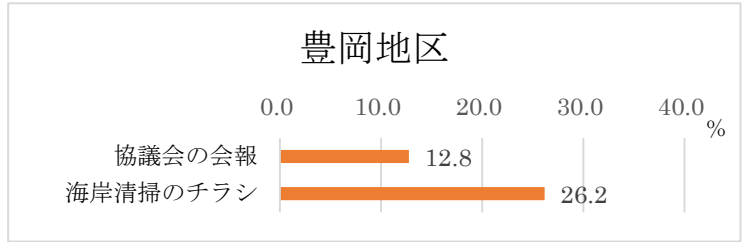
2. 婚活パーティーの案内

3. もういい会の案内

【豊岡地区】

11月の広報誌と一緒に配布した海岸清掃のチラシの認知度が26.2%でした。

選択肢	回答数
協議会の会報	19
海岸清掃のチラシ	39



1. 協議会の会報（一緒にやろや！）

いつも元気できれいなまち豊岡
一緒にやろや! 第2号
発行日：平成28年7月1日
編集発行：豊岡町ふるさとづくり実行委員会「地区コミュニティ」 連絡先：豊岡公民館 TEL. 28-6067

豊岡地区は、平成25年度から市のモデル事業として地域コミュニティ活性化事業に取り組んでいます。これは、公民館単位で、住民がそれぞれの地域が抱える課題について、自分達で解決方法を考え、行動することで地域課題の解決や住民同士の絆の再生、そして地域力の強化を図る事業です。市内でモデル事業に取り組んでいるのは、豊岡、川島、藤崎の3地区で、昨年度、豊岡地区では「海岸清掃」、「花いっぱいまちづくり」、「子どもの見守り体制の充実強化」の3つの事業について、皆さんのご協力により実施しました。今年度は、「海岸清掃」、「楽しみながらできる防災訓練」、「花いっぱいまちづくり」の3つの事業を行いますので、どうかご協力ご参加くださいます。

平成28年度事業の紹介

楽しみながらできる防災訓練
実施時期：平成28年8月20日（土）、21日（日）
場 所：豊岡小学校
大規模災害と場合に求められる自治・共同体の防災力の向上を図るとともに、学校と連携した防災訓練を実施しますので、多くの皆さんご参加ください。また、お申し込みやお問い合わせは豊岡公民館まで！

海岸清掃
実施時期：平成28年11月6日（日）
場 所：豊岡町内海岸
今年も海岸清掃を実施します！
昨年は多くの皆さんご参加いただきのおかげで、豊岡地区内の海岸がすっきりとキレイになりました。今年は、昨年以上に海岸が美しくなるように頑張っていきますので、ぜひご参加をお願いたします。

花いっぱいまちづくり
実施時期：連年 場所：国庫11号沿線など
花いっぱいまちづくりによる地域活性化の向上とあわせ、来年度の国庫沿線のすっきりとした環境を創出するために、花いっぱいまちづくりの取り組みを行います。

2. 海岸清掃のチラシ

今年もみんなと一緒にやろや！
第2回 **海岸清掃** Let's Clean the Beach!
H28年11月5日（土） 9:00～
豊岡公民館

豊岡地区住民なら誰でも参加できます！
豊岡地区コミュニティは、豊岡地区内の各種団体が構成するまちづくりを目的とした団体です。今年も、大切な地域の宝である海岸の清掃を企画しました。
誰でも参加できますので、多くの皆さんのご協力を期待します。また、清掃終了後には、昼食や交流イベントを予定していますので、あわせてご参加ください。

日時：平成28年11月5日（土）9:00～
集合場所：西部 ベランタ横
中部 豊岡コミュニティ広場
東部 御リン3広場
清掃範囲：豊岡町の海岸全域
※清掃に参加している皆様にはお水やお茶をご用意いたします。
※早参りに参加は不要です。清掃終了後までお待ちください。

昼食 & 交流イベント
清掃終了後、参加者の皆さんに昼食（予定）を準備しています。また、子ども参加者全員で楽しめるイベントも企画しており、皆様も準備していますので、美味しい昼食を食べながら楽しく交流しましょう！

- クイズ
- お楽しみ宝探しゲーム
- ビーチフロッグ大会
- 折り紙体験
- 目録でキーホルダー・証書づくり

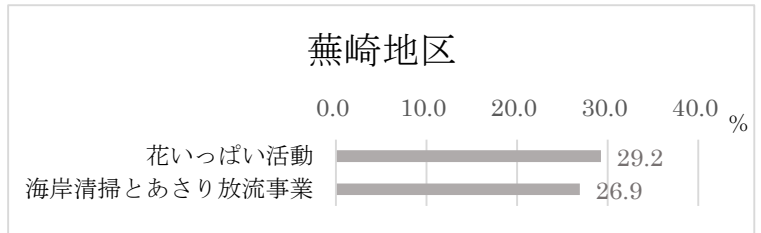
場所：豊岡町海岸会館ふれあいビーチ
※イベント開催中は食料品などの販売は中止させていただきます。

主 催：豊岡町ふるさとづくり実行委員会「地区コミュニティ」
連絡先：豊岡公民館 電話番号28-6067

【蕪崎地区】

花いっぱい活動とあさりの放流事業のチラシは、共に約3割の認知度でした。

選択肢	回答数
花いっぱい活動	38
海岸清掃とあさり放流事業	35



1. 花いっぱい運動



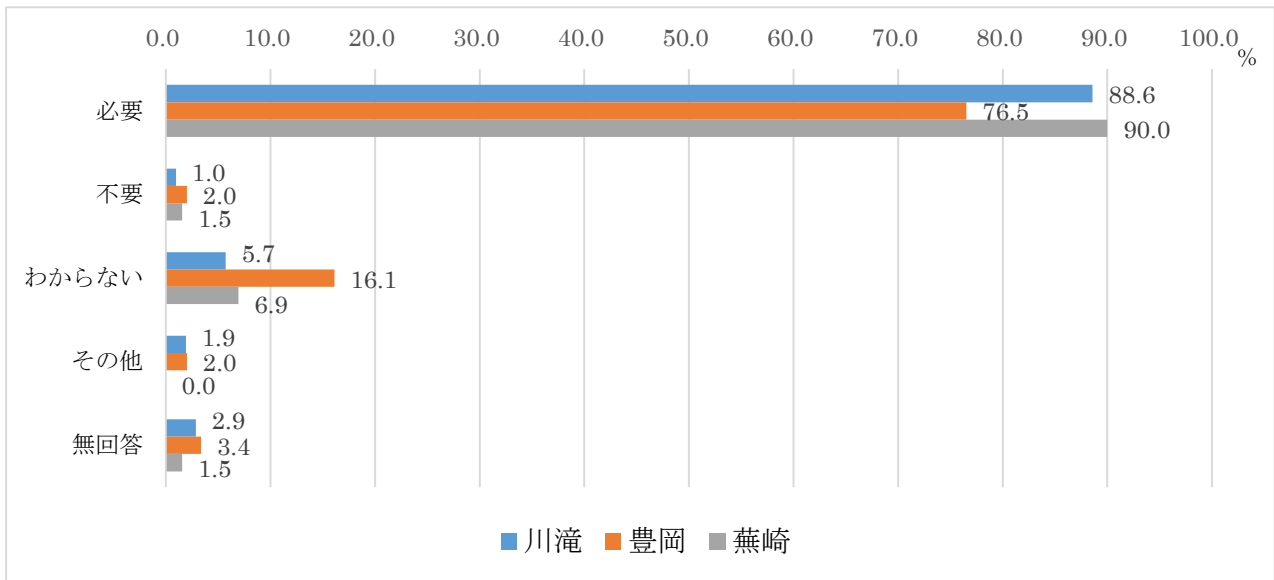
2. 海岸清掃とあさりの放流事業



Q10. 地域内での住民同士のつながりは必要と考えますか

3地区ともに住民同志のつながりは「必要」と答えた方が圧倒的に多くあり、平成27年度とほぼ変わらない結果でした。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
必要	93	114	117	324
不要	1	3	2	6
わからない	6	24	9	39
その他	2	3	0	5
無回答	3	5	2	10
合計	105	149	130	384



川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 必要とは思いますが馴染めていない

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

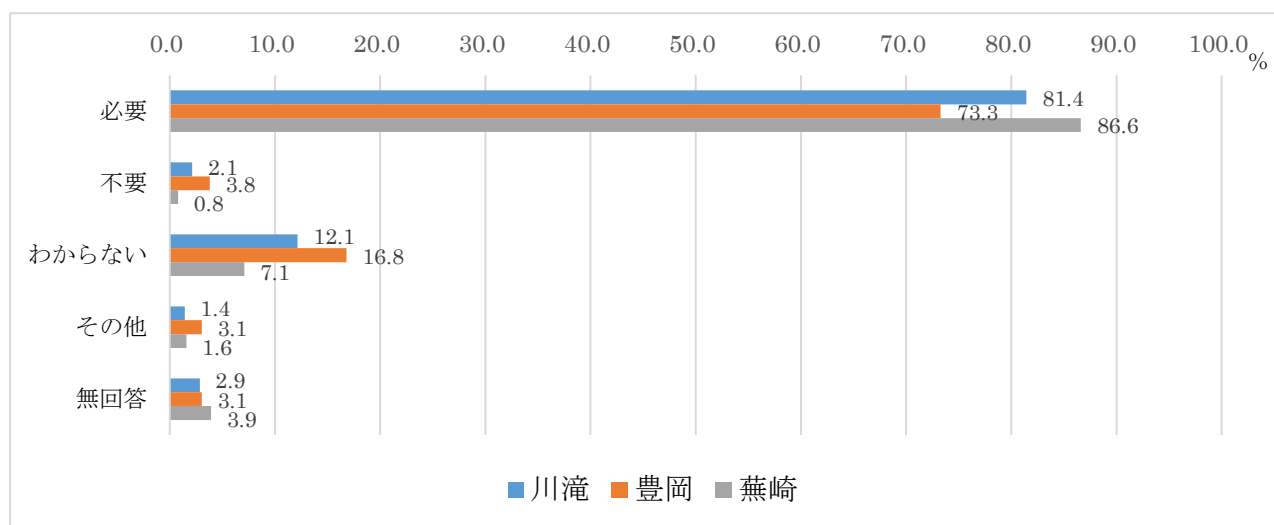
- 難しい
- そこそこ必要

蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

※意見はありませんでした。

平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	燕崎	合計
必要	114	96	110	320
不要	3	5	1	9
わからない	17	22	9	48
その他	2	4	2	8
無回答	4	4	5	13
合計	140	131	127	398

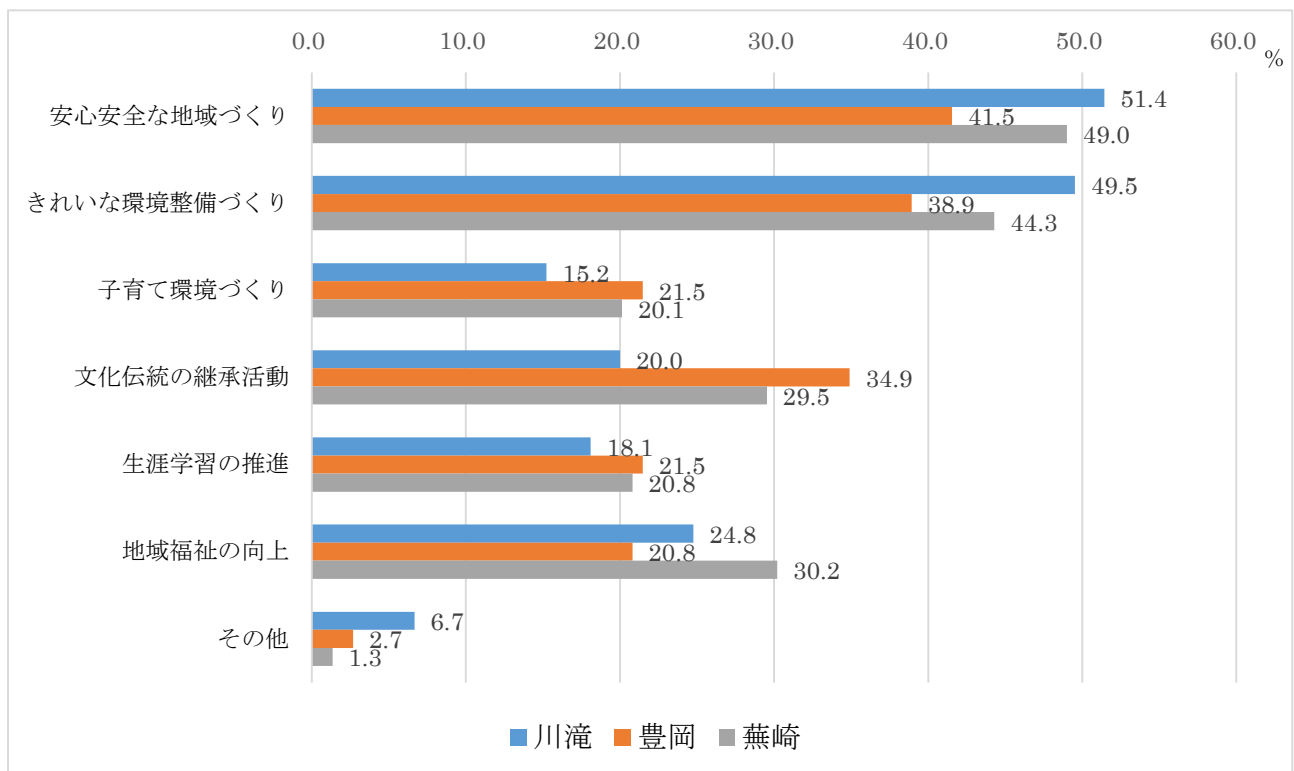


Q11. どのような地域活動なら参加しても良いと考えますか

(複数回答可)

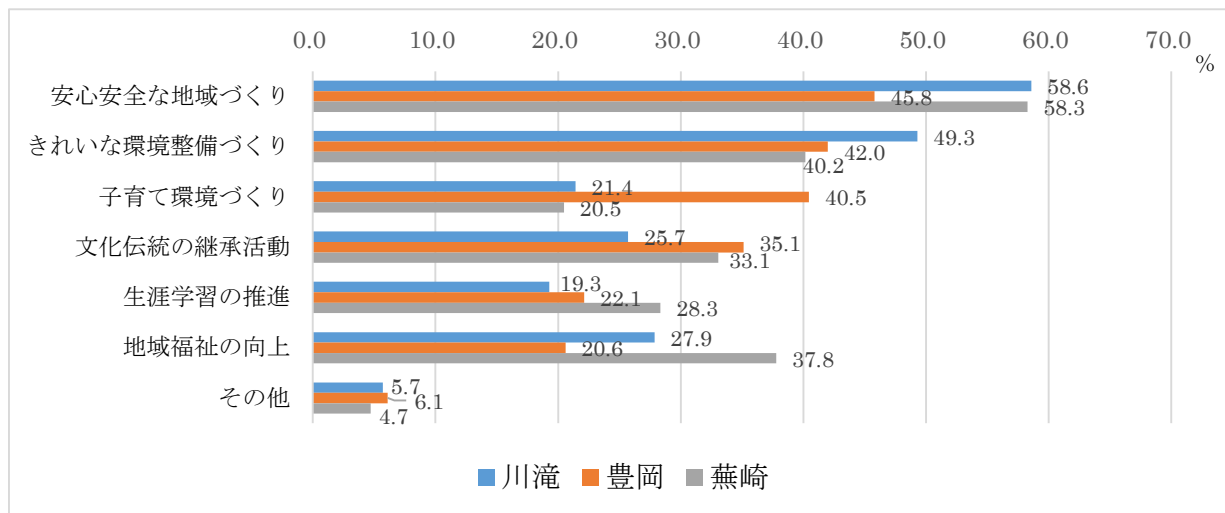
概ね平成27年度と同じような結果でしたが、豊岡地区の「子育て環境づくり」への参加意欲が約20%減少しました。これは、昨年度の回答者の割合が、30代が一番多い状況だったことに対して、今年度は60代が一番多くなったことが影響していると推測されます。蕪崎地区においては、平成27年度と同様に「地域福祉の向上」が他の地区よりも多くなっています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
安心安全な地域づくり	54	54	73	181
きれいな環境整備づくり	52	58	66	176
子育て環境づくり	16	32	30	78
文化伝統の継承活動	21	52	44	117
生涯学習の推進	19	32	31	82
地域福祉の向上	26	31	45	102
その他	7	4	2	13
合計	195	263	291	749



平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
安心安全な地域づくり	82	60	74	216
きれいな環境整備づくり	69	55	51	175
子育て環境づくり	30	53	26	109
文化伝統の継承活動	36	46	42	124
生涯学習の推進	27	29	36	92
地域福祉の向上	39	27	48	114
その他	8	8	6	22
合計	291	278	283	852



川滝地区における「その他」意見（抜粋）

- 交通の便がないので行けない
- 80歳以上が殆どで、自分のこといっぱい
- 組内に若者が少なく高齢者ばかりで、とても困っている

豊岡地区における「その他」意見（抜粋）

- 移住促進、空家バンク、楽しくおいしく地域交流、町民全員参加ごはん（徳島のどこの町で開催していた）
- 自立生活が長い間出来るよう、健康体操など長期にわたって行う
- 高齢者で足膝が悪いので、したくてもできない
- 今は参加したくない

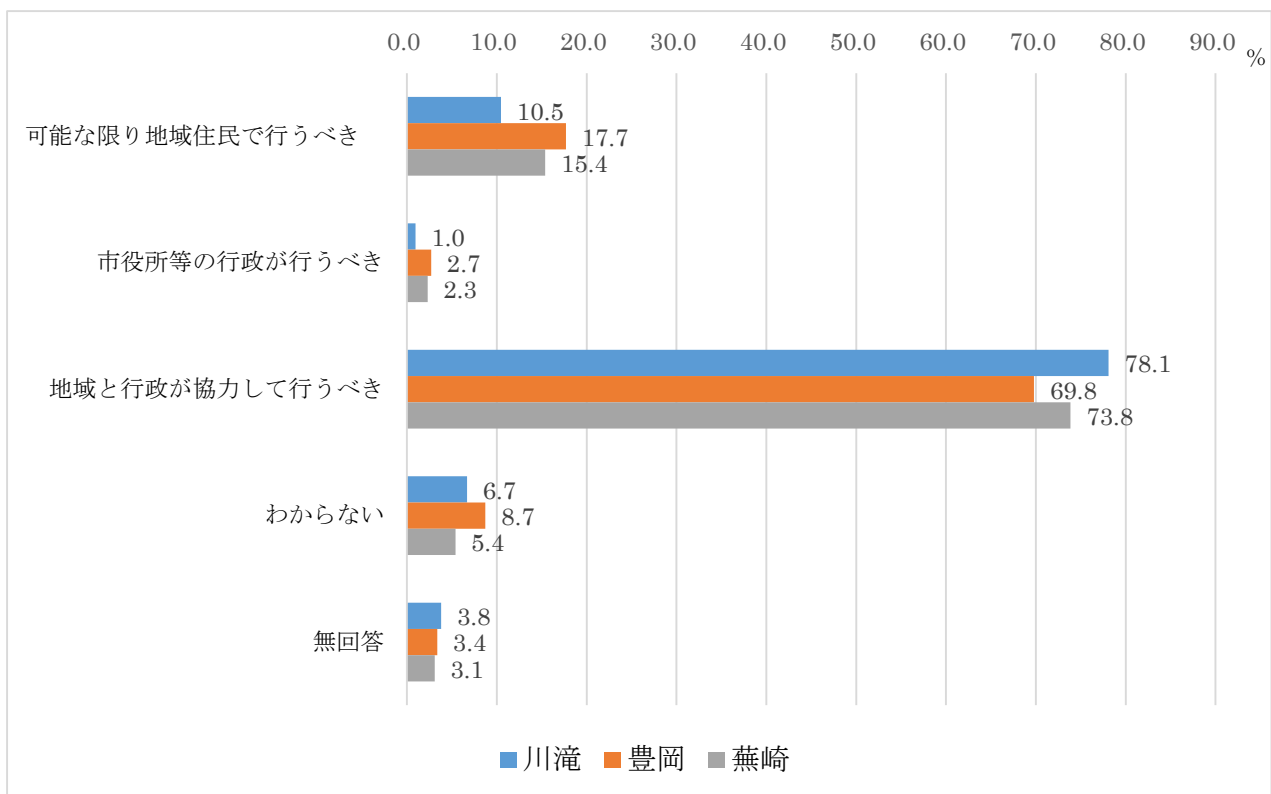
蕪崎地区における「その他」意見（抜粋）

- 住民のニーズに対応したもの
- 高齢なので身体がついていかない
- 地域の将来のあり方、都市計画構想
- 参加したいけど、体調不良にて参加しにくい

Q 1 2. 地域の課題（地域高齢者対策、防犯灯整備、子どもの見守りなど）はどのように解決すべきと考えますか

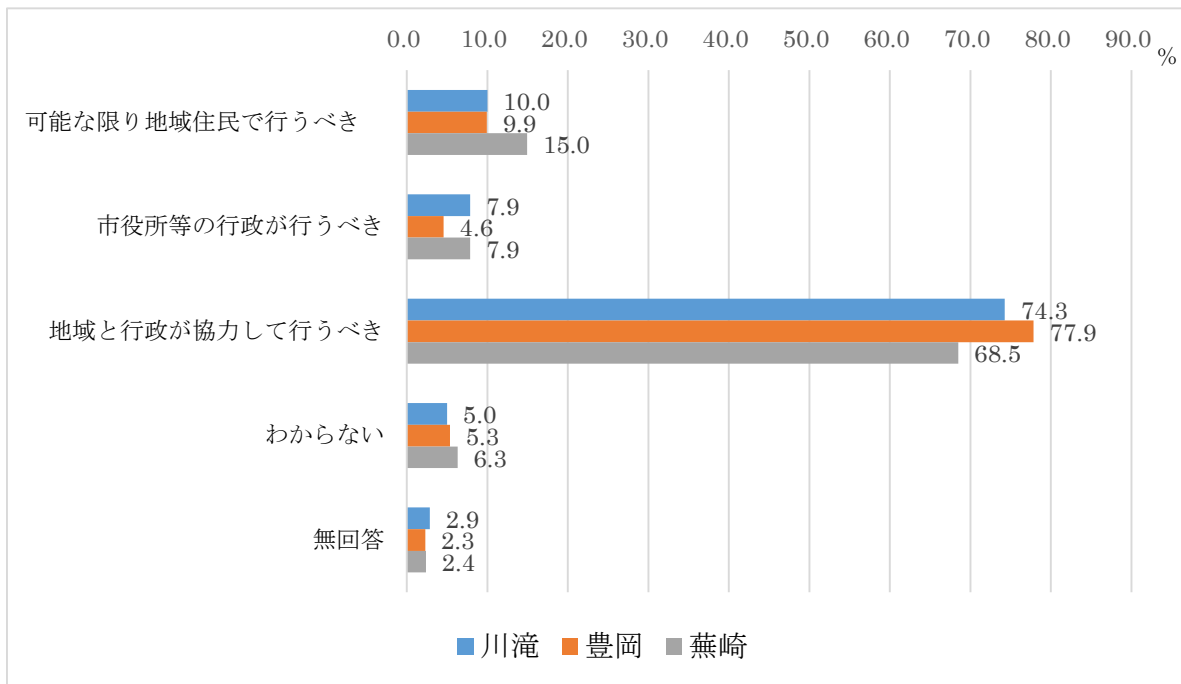
平成 27 年度と同様に地域課題の解決は、3 地区ともに「地域と行政が協力して行うべき」と回答した人が最も多くなっています。「市役所等の行政が行うべき」との回答は、若干、減少しています。今後、地域課題を解決していく上では、地域だけでなく、また行政だけでなく、地域と行政が協働してまちづくりを行うことが市民の側からも求められています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
可能な限り地域住民で行うべき	11	23	20	54
市役所等の行政が行うべき	1	4	3	8
地域と行政が協力して行うべき	82	104	96	282
わからない	7	13	7	27
無回答	4	5	4	13
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

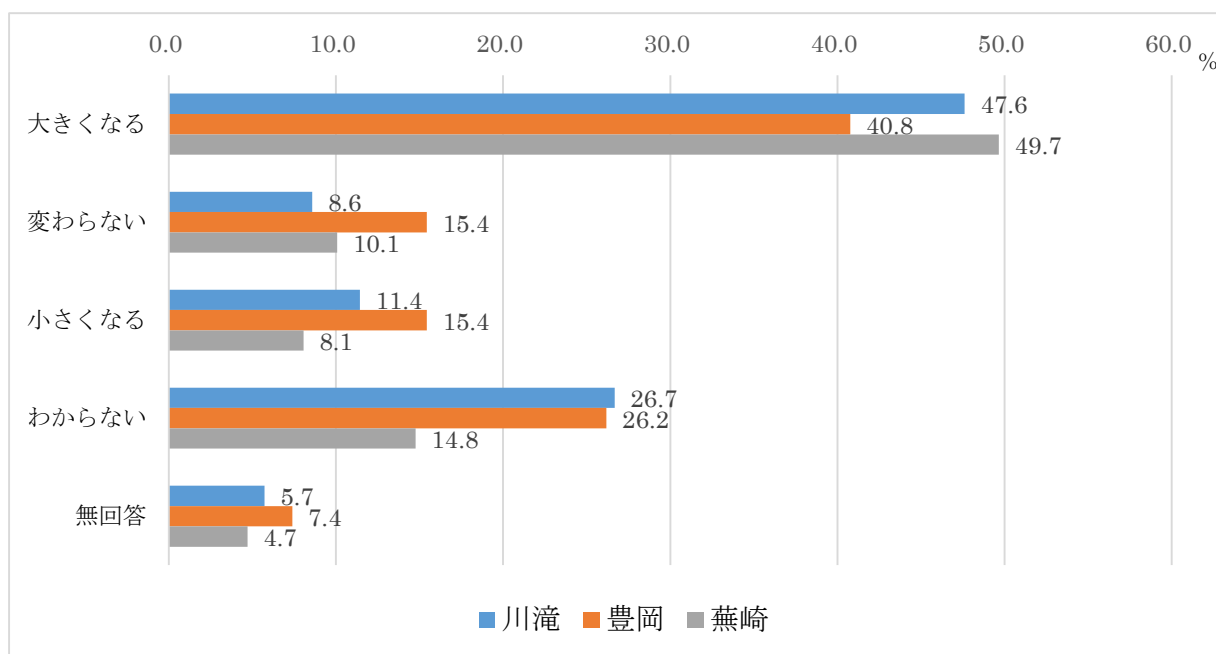
選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
可能な限り地域住民で行うべき	14	13	19	46
市役所等の行政が行うべき	11	6	10	27
地域と行政が協力して行うべき	104	102	87	293
わからない	7	7	8	22
無回答	4	3	3	10
合計	140	131	127	398



Q13. 今後、少子高齢化が進展する中で地域のコミュニティが担う役割についてどう思いますか

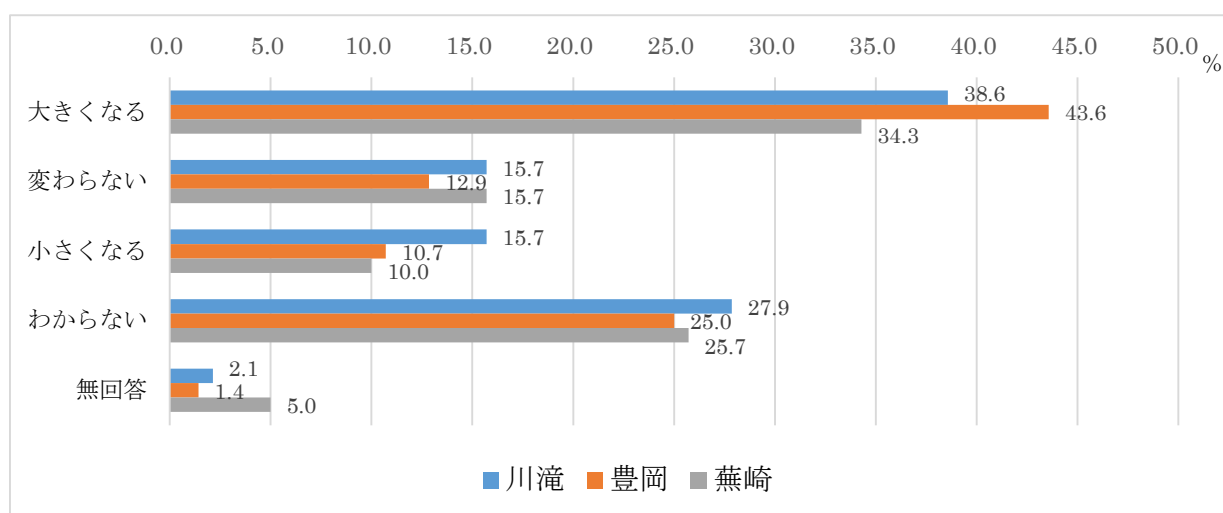
今後の地域コミュニティの役割について、各地区ともに「大きくなる」との回答が一番多くなっており、平成27年度と比較して「大きくなる」との回答が川滝地区では約10%、蕪崎地区では約15%増加しています。

選択肢	川滝	豊岡	蕪崎	合計
大きくなる	50	53	74	177
変わらない	9	23	15	47
小さくなる	12	23	12	47
わからない	28	39	22	89
無回答	6	11	7	24
合計	105	149	130	384



平成 27 年度

選択肢	川滝	豊岡	燕崎	合計
大きくなる	54	61	48	163
変わらない	22	18	22	62
小さくなる	22	15	14	51
わからない	39	35	36	110
無回答	3	2	7	12
合計	140	131	127	398



Q. アンケートについてのご意見や、今後地域コミュニティ活性化事業に望むことがあれば、お書きください

川滝地区における主な意見

- 今は家庭のこと、孫のこと、両親のこと色々で出て行けない。頑張ります。地域コミュニティ活性化に暇になったら行ってみようかなと思います。
- 少子高齢化は中年層の負担が大きく、地域での活動は難しいと思う。
- このアンケートより、もっと違う事をしたらいいと思う。他の地域より遅れていると思う（川滝は）。
- 少子化に伴い子供の対応が心配です。
- 川滝地区が、もっともっと活性化する様、予算立てをしていただきたい。
- 道を早く広げてほしい。通学路危ない。空き家の取り壊し（瓦が落ちてくる）。
- 地域住民が主として活性化事業を行う上で、もっと行政によるサポートが必要ではないだろうか。
- 地域の範囲が広すぎてコミュニケーションを取り難いと思う。まずは身近な地区の繋がりが大切だと思う。
- 地域の以前あった太鼓がなくなり寂しい祭りです。花見とかも現地で行わないので昔みたいに盛り上がりがない。歩け歩け大会のような家族で参加できるものが、とっても嬉しいです。みんなで小旅行できたら楽しいかな。
- まだまだ末端まで浸透していないと思う。皆が参加しやすい雰囲気を作れないだろうか。
- 地区防災連絡会（仮称）の結成が望まれる。「命にまさるものは無し」。公民館の役割が極めて重要と考えます。有事の際、多くの市民が避難場所及び避難所すら認識されていないと思う。急を要す！事態です。
- 若者が参加できる地域活動。
- 参加者が特定されてきているように思います。
- コミュニティ活性化事業って、あまり知らなかった。又、少し勉強したいと思う。
- 活性化するには、いろいろ問題もあるが、とりあえず一歩踏み出しやすい環境作り、支援等必要と思われる。また、マニュアルのような物、事例等。
- 花いっぱい事業は良いと思いますが、各戸配布は大変だと思います。
- 花いっぱい事業は続けて下さい。道沿いに可愛い花が咲いていると気持ちがいいです。
- 事業の大切さは理解できるが、将来は活動を担う人材すら、人口減少でいなくなるのではと思われます。
- 花いっぱい事業について。充分の説明なく、ただ配っただけ。趣旨もわからず持ち帰って置いて枯れたら終わり。隣同士で花を世話する事、話し合う事なく、ただ一過性で終わり、あまり意味の無い様に思われた。
- この地域独特の名残が、まだまだ強く楽しいから行ってみようではなく、仕方なく行ってみようと思う気持ちが心の中でいつまでも続いているように思います。古い風を吹き消し新しい風を取り入れて魅力のある地域にするためにも様々な人材の活躍が必要な気がする。効果のある活性化を望みます。

- 公道（野道・農道・橋）の危険な箇所の修理。傷み具合の少ないうちに修理をして欲しい。
- 高齢にて足（バス）がなければ、動くことができません。
- 川滝、柴生、下川の交流をもっと推進するべきだと思う。また、小学校の愛護班を終了した中・高生がいる家庭は、なかなかイベントなどに参加しづらい。義務教育が終了する中学生まで、愛護班活動を続けてもよいと思う。
- 川滝へ行ってみよか！と思うお店やイベントがあれば、もっと地域が盛り上がると思います。野菜や手作りおかず、お菓子などを販売する「おいでや市」のようなお店（日用雑貨なども置いてもらえると、買い忘れた！という時に便利）または、土・日のみ開催される朝市のようなものがあるといいなと思います。
- 1. リーダーシップ 2. 行動力 3. 情熱

豊岡地区における主な意見

- 何も知らないなので、何を望むか不明
- 土居町北野の、あいあい広場があります。そこへよくコーヒーを飲みに行きます。皆楽しいです。70歳～90歳の方ばかりですが、皆元気です。
- 行政が動き、その助けとして地域も協力するべき。整備など金銭面もあるので、地域の理解を得るのは難しいと思う。
- ご協力されている方々の、ご活躍を願っています。
- 地域コミュニティというが、地域の一部の人だけで活動しているのではないのか？
- 子どもが学校を離れてしまうと参加することもなくなりました。なかなか参加に踏み切れないのが現状です。
- まず町民が自分の地域の魅力を再発見でき、他地域の人に自慢できるような地域になる活動が出来たらと思います。例えば豊岡の田畑（＝素材）を生かして美食の町にするなど（ただし特産品を作るのではなく、スペインのバスク地方のような→詳しくは「人口18万人の街がなぜ美食世界一になったのか」高城剛・著者）美味しいものがあるとところに人は集まりますね。
- マンション住まいのため、市報が届きません。年会費（郵送料等）を収めれば市報が家に送られてくる等のサービスがあれば有り難いです。
- 話し合いには参加する機会はないが、広報をよく見て活動に参加できればと思います。
- 皆に声掛けが必要だと思う
- 海岸清掃や子供の見守り等は良い事であると思う。今後も続いていく必要があるが、私は高齢で参加できない。残念です。
- 高齢者が多くなっている。健康で病気にかからない、認知症にかからない方法など町づくりで取り組む。
- だれでも参加できるのであると思いますが、きっかけがないと参加するのが億劫になる。
- 事業内容の告知不足だと思います。海岸清掃も日曜日に開催した方が、もっと大勢の人が参加しやすいかも知れません。
- 町民運動会などの住民が多く集まる時に地域活動も一緒にできたらよいと思う。
- 月1回サロンで活動をしておりますが、一部ですので広げていけば良いのではないかと思います。
- 地域でのイベントや活動は良い事だと思います。しかし、子育て世代の私達には忙しく準備や活動参加は難しいと思います。いちばん忙しい子育て世代に負担をかけるような活動は好ましくないと感じます。
- ゴミ捨て場が家の軒数が増えても変わらず困っています。
- 豊岡地区がモデル事業の一つになり、過去2回の清掃活動に参加し、良い体験ができた。地区社協や各自治会などコミュニティを考える場が多数あるので連携、協働の必要性があるのではないかと考えていたので、良い事業だと思う。住民への周知を広めていけたらと思われる。
- 望むことは無いです。今は体調悪いけど幸せです。市民交流課の方、色々と私達のことを考えて下さり有難うございます。

- 元気で年を重ねていけると良いと思います。笑顔のたえない様になれば良いですね。
- 今は他人のお世話にならぬよう心がけるばかりで、良き事を思っても実行力がなくなってしまうと、いつも残念に思っている。
- コミュニティの活性化を望むにしても、私達夫婦と子供がここに家を建て、年寄りたちに叱られたり褒められたりしながら生活した人達がいなくなり、その上に、ここで育った子ども達は、もういません。その上に、もう一つ問題が・・・私達も、この年代になると杖なくては一人で歩けず二つ目の苦勞。
- 自分は、たまたま豊岡に住んでいるだけで、ここが地元でも、ここに近い人がいるわけでもない。その分、こういったアンケートがポストにいつも入っている時、正直どうしていいものか困る。一応、いつも答えているが正直負担である。
- いろいろな周知活動は、より活発に行われるように望む。
- 体調不良のため、一人で家の中での生活。希望として三島には医療機関がないので残念です。
- 地区の中でイベントなど、出る人が少なく、強制のようで苦痛な時がある。
- 市からの連絡として、放送をしていると思いますが、声が反響して聞き取れません。確実に届く方法を考えて欲しいと思います。エリア別に届けることが出来れば地域コミュニティのPRも出来るのではないのでしょうか。
- 以前から海岸清掃、11号線の花いっぱい運動など知っていましたが地域コミュニティ活性化事業とは知りませんでした。
- あまりPRがない
- なぜ役所がすることなのかわからない。
- いろんな地域活動に参加したいとは思っているのですが、行動できない自分自身が、歯がゆいです。どんどん活動を知らせて欲しいです。
- 会社員なので休みが取れにくく、あまり参加できない。
- 地域にとって良いことなので頑張ってほしいと思います。

蕪崎地区における主な意見

- もっと仲良くお付き合いがしたい。
- 地域の事業に参加する方とのコミュニケーションがとれ、横の繋がりが出来ていいと思うけれど、まだまだどこの家の方かがわからず、やはりその場限りの関わりになり、もったいないと思う。直接、小部落の誰かわかるよう名札でも付けていけば話しかけやすかったり、よそで会った時など話しかけやすかったり・・・と、もっと地域の方々とのふれあいや世代を通してもの繋がりも深まるのではないのでしょうか。
- コミュニティ予算は計上していないところにも使えるようにしてほしい。
- 各地域に広めるよう希望します。
- 合同公民館（天満・蕪崎）建設問題が出て事業意欲が減退。地域がまとまり絆が強くなりつつあるのが、地域が大きくなり住みよいまちづくりが後退する。
- ①モデル事業に選定されていることを蕪崎地域住民が殆ど把握できていない。それは館報などが発行されず、一部の団体や公で推進しているからである。②地域の課題に対応するには、指定が終了しても持続可能な行事を住民ファーストで考えていくことが肝要だと思う。とにかく館報などの広報活動が大事。
- 地域コミュニティ活性化はそこに住む地域住民のためのものであり、住民自ら知恵を絞り行動することが当然のことと思うが、行政の役割も、これまた重要なので、どうか地域へのお力添えを賜りたい。
- 独居、要介護、空家等、高齢少子化が進む中、参加できない行事が多いです。地域の活性化には役立っていると思います。また太鼓台の運行などでは、見ることはできるので区内をできるだけ運行する工夫が必要だと感じます。現状は、どちらかと言えばイベント優先で家の前を通ることもまれです。最終日は地域内を運行してくれているようですが・・・
- 参加することに意義があると思う。
- 一人でも多く参加されるよう願います。
- 交通弱者、デマンドタクシーがあるものの、今一つのような気がします。他にもっと良い方法がないものかと思います。均一の市内バスとか。
- 行政の方々がお忙しい中、地域に目を向け、活性化に向けての取組みを実施して下さっていることに対して大変感謝しており、有り難く思います。そのような取組みを受けて一地域住民として改めて自らが自主的に地域の絆を守る為に活動することの意義を再確認することができています。蕪崎海岸は豊かなバイオマスから地元住人のみならず、周辺地域の方々からも愛される誇りの海です。我々住民の気持ちを汲んだ上で、このような企画を組んでくださり本当に嬉しく思います。有難うございます。
- 地域の自主防災組織ともっと協力・体制が必要と思う。
- 婚活支援を大きく大きくお願いします。
- 参加している人は、もうコミュニティが確立できていると思います。次のステップとして、前回参加していない人、参加したことのない人達がどうすれば参加できるようにするかだと思います。
- 年を重ねるごとに、地域のコミュニティが悪くなっていると思われる。
- 今以上に地域へ目を向けていこうと思います。

- 空家が多くなっています。危険な家があり不安に感じます。
- 他の地域では、公民館行事がコミュニティ活性化事業に変わったと聞く。それでは、この活動の意味ないのでは。この活動に市の職員がもっと係わっていただきたい。
- 自治体と提携、一体化となった市民活動
- 2/12 の蕪崎海岸清掃→一年で一番寒い時期は老人にとって良くない(変更してほしい)
- 高齢者も積極的に参加できるようにしてほしい。
- 花いっぱい運動について 置き場所の検討が必要。
- 花いっぱい運動・・・参加の仕方がわからない。
- 幅広い人材を募り、一方に片寄らない形で行うべきで、一人で何役の掛け持つことは避けるべきである。細分化も必要である。
- アパートだと情報が入らない。市報も入らないので。
- 一人暮らしの老人宅への声かけ運動が必要。
- 地域の活性化を事業として取り組むという考えは、どうかなと思う。経費の無駄だと思う。
- 安心安全な地域作りは、防災・防犯・交通安全だけでなく住宅地内でのゴミ焼きはダイオキシン、人体に害、建物に害、洗濯物の害等あるので戸別に見回りを強化してほしい。何度言ってもやめない人がいる。
- 活性化事業に参加できず残念ですが、参加された方からのお話によると、楽しく有意義だったと聞いています。都合がつけば参加したいと思います。
- 住民の意識改革が必要ではないだろうか。地区の歴史的なこと、他地区との違い、他地区の人が住んでみたいと思うような環境作り。
- ①活性化事業の継続と定着化を図る。②協議化の構成は多くの組織で構成されて、素晴らしいと思うので活動の位置を高める。
- 移動世帯や校区外へ通学している家庭の子どもなど、多様化している中で、そのような人達をどのように取り組んでいくかも問題である。コミュニティを担う働き盛りの家庭が地域から離れていくので。
- 以前、自治会で蕪崎のアサリがなくなってしまうと皆心配しました。一日に車が300台(数えたことがある)止まり、毎日毎日海の物を獲ってしまいました。今年は入れなくし、アサリを放流して頂き、楽しみにしております。以前のように一年中自由に獲れるようにしないで、何とかいい方法を考えて下さい。
- もっと気楽な内容で人が集まる方法を考える事が必要かもしれない。
- 色々考えての名目での活動だとは思いますが、はっきり言って何の目的で何のためなに関わっているのかわからない。
- 時代の流れに柔軟に対策してこれなかったツケが回ってきていると思う。どこを切っても金太郎飴のようにしてきた政治家の責任も重い。不寛容社会となって久しいが、この際、一度初めからやり直せばよろしい。
- 高齢化が進み、必要性があり、参加できる時は出ようと思う。人と逢って話をする、体を動かす、とても大事な事ですね。
- 広報をきちんとした上で、世代をつなぐ運動の機会を増やした方が良い。
- コミュニティ活動が行われている事すら知りませんでした。たぶん月1回配られてく

る広報に挟まっていたと思いますが、忙しいと読めない月もあります。高齢者が多く情報もなかなか入ってこない地区ですので、知っている人は知っていて、我が家のように現役で働いている世帯には、話すら聞こえてはきません。土居地区のように運動会とかしてみたらいかがですか？若い人も参加しやすく、皆でまとめられると思いますが。

- 敬老会など高齢者の会が開かれているが、その会に出席しなかったら、タオルなどが配られてないことがあった。公平にしてほしい。